

平成29年4月27日

こども未来局こども未来部

幼保支援課 電話 245-5976 内線 6247

幼保運営課 電話 245-5725 内線 6051

千葉市政担当記者 様

待機児童解消に向けた緊急アクションプランを策定しました

千葉市では、平成30年4月の待機児童解消を図るため、緊急アクションプランを策定しましたので、お知らせします。

1 目的

潜在的保育需要の顕在化により、2年連続で待機児童が発生するとともに、平成29年4月から国の待機児童の定義が見直されたことを受け、保育の受け皿を大幅に拡充するとともに、新たな保育士確保・負担軽減策を実施し、来年4月の待機児童解消を目指します。

2 待機児童発生主な理由

- (1) 潜在的保育需要の顕在化（入所申込児童数：前年度比876人増）
- (2) 保育士不足による受入枠減少（民間18か所37人の不足：児童約330人分）
- (3) 保育需要の地域的な偏在
- (4) 国の待機児童の定義の見直しによる増

3 計画年度

平成29年度

4 計画内容

- (1) 保育の受け皿を大幅に拡充します。

当初計画数 1,188人分 → 1,688人（500人増）・・・過去最高整備数
＜整備手法＞

- 従来どおり幼稚園の認定こども園移行や認可外保育施設の認可化などを進めることに加え、即効性のある小規模保育所整備を当初計画数4か所から12か所に拡充
- 施設整備事業者の公募スケジュール前倒し（実施済み）
- 開園前の賃借料補助（実施済み）
- その他、企業主導型保育の促進、新規施設における定員利用の柔軟運用（特に保育需要の高い3歳未満児の受入れ拡充等）などを検討

- (2) 保育士の処遇改善及び負担軽減を行います。

- ア 千葉県単独補助の動向を踏まえ、本市独自の給与上乘せを実施します。
- イ 保育士の勤務負担軽減のため、保育補助者雇上強化事業を実施します。

- (3) 保育の質の向上を図ります。

- ア 市内の保育士養成三短大（植草学園短期大学、千葉経済大学短期大学部、千葉明德短期大学）との連携によるサバティカル研修を実施します。

※サバティカル研修とは

採用後5年目程度の中堅保育士を対象とした研究休暇的な4日間の研修。

- イ 更なる研修体制の充実について検討します。

5 予算措置

平成29年度補正予算にて対応

保育所申込児童数、整備定員数、入所児童数、入所待ち児童数、待機児童数の推移

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29
就学前児童数	49,995	49,049	48,022	47,192	46,491	45,398
① 入所申込児童数	12,289	12,709	13,588	14,516	15,356	16,232
（前年度比：増減）	167	420	879	928	840	876
（前年度比：％）	101.4%	103.4%	106.9%	106.8%	105.8%	105.7%
② 整備定員数	386	532	376	954	737	1,025
③ 入所児童数	11,908	12,478	13,274	14,174	14,724	15,633
（前年度比：増減）	452	570	796	900	550	909
（前年度比：％）	103.9%	104.8%	106.4%	106.8%	103.9%	106.2%
④ 入所待ち児童数	381	231	314	342	632	599
（前年度比：増減）	▲ 285	▲ 150	83	28	290	▲ 33
（前年度比：％）	57.2%	60.6%	135.9%	108.9%	184.8%	94.8%
⑤ 待機児童数	123	32	0	0	11	33
（新定義）	—	—	—	—	—	48

※新定義：育休中世帯（復職の意思あり）が新たに対象